

介護施設の事務効率化

システム プラットフォーム クラウドソフト投入

【神戸】システムプロ（株）は、保険支払機関への介護報酬の請求やラネット（神戸市兵庫区、糟谷有彦社長、078・574・612）各帳簿作成など、介護事業所内での管理業務を支援するクラウド型ソフトウェア「楽々ケアクラウド」を発売した。2023年をめどに年間3億円の販売を目指す。



介護施設の事務作業支援のクラウドソフト「楽々ケアクラウド」の使用イメージ

同じ事業所内で複数台のパソコンを同時に接続して使用できるため介護報酬の管理業務などの作業の分業化・業務効率化に寄与する。介護報酬の改定時などの更新は自動で行うため、使用者側による操作は不要。価格は1事業所当たり月額6500円（消費税抜き）。

糟谷社長は「介護に携わる働き手の業務負担低減に貢献したい」としている。現在はパソコンのみに対応しているが今秋をめどに、スマートフォンでも使用可能とし、音声入力への対応を目指す。

システムプラットフォームはインストール版の介護業務支援ソフトの開発・販売を手がける。介護保険制度が始まった00年以來、全国約1200の介護事業所で導入されているという。クラウド化の時流に適したシステムを投入し、業容拡大を図る。